



ふれあい

発行
青少年育成
沼袋地区委員会
昭和55年12月15日創刊

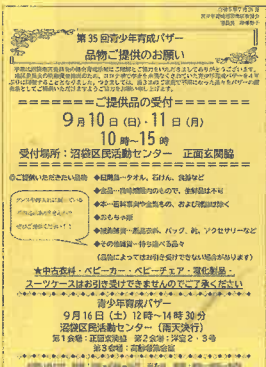
お待ちしました!! バザー復活!! ～準備から後片づけまで～

全部見せます

品物提供の呼びかけ

8月

地域の回覧板や掲示板で、ご家庭の不用品を提供してくださるよう呼びかけました。これはバザー開催の告知の役割も果たしたようで、地域の方から「久しぶりにやるのね。楽しみだわ」と声をかけていただくこともありました。



提供品の受付

9月10日(日)・11日(月)



たくさんのご提供品、ありがとうございます

提供品の受付初日は、4年ぶりということで準備や段取りに戸惑ったうえ、受付場所が屋外からセンター内に変更

されたこともあり、なんと心細いスタートになりました。何より心配したのは、バザーが行われなかったこの4年の間に、家庭の不用品が整理されて、提供していただく品物がなくなってしまうのではということでした。

そんな心配をよそに、受付開始から次々と品物が持ち込まれてきました。青少年育成のためにと協力を惜しまない、地域の方々の温かいお気持ちに触れることができました。

品物の点検と値札つけ

9月13日(水)・15日(金)



一つずつ、コツコツと。

2日間の提供品の受付を終え、寄せられたたくさん品物に値札を付ける作業が始まりました。

キズや汚れがないかを点検して品物を種類ごとに分け、買ってもらいやすいような値段を相談しながら、一つひとつに値札を付けていきます。こんな大変な作業をずっと続けてこられた歴代の地区委員の方々に、頭が下がる思いがしました。

バザー当日

9月16日(土)



男性の姿も多かったです

朝早くから、学校PTAや地域の方など、バザーに協力してくれる方々や地区委員が集まり、それぞれが担当する売り場の提供品を運び出して、見栄えを工夫しながら陳列しました。

バザー開始30分前には外の売り場の前に行列ができ、開始とともにお客さまがどっと売り場に押し寄せました。忙しかつたですが「毎年楽しみにしてたの。復活してうれしいわ」と言ってくくださる方々との会話や交流を楽しむこともできました。また、小学生の兄妹がお目当ての本を見つけて「うおー! やったー!!」「お兄ちゃん、よかったね」と2人で喜んでる姿を見て、ほっこりさせられました。

たくさんの方に買い物をしていただき、たくさん笑顔に出会うことができたこの育

成バザー。多くの方のおかげで実施でき、その収益が地区委員会の活動に生かされていることに、あらためて地域のありがたさを感じました。



意外な掘り出し物発見!?

後片付け バザー終了後と翌日



息つく間もなく、片付けです...

2時間半の販売時間があっという間に終わり、すぐに片付けの始まりです。まずは外で販売していたものを室内に

運び込み、ブルーシートの片付けや清掃をしてセンターの玄関脇を元どおりにしました。室内では、私たち地区委員や手伝っていた方々にも、残った品物から買い物をする時間が設けられました。少しでも売り上げに貢献できようと思ったのです。その後反省会を開き、参加者からバザーの感想や改善点などの意見を聞きました。

翌日は再び集まって、残った品物や備品などの確認や片付け作業をしました。

今年の育成バザーは、コロナ禍を経て4年ぶりの開催だったので、連日緊張しながら準備を続けましたが、当日は大勢のお客様が集まってくださり、盛況のうちに終わることができました。

このバザーの収益は、沼袋地区委員会の活動資金として、地域の子どものための健全育成のために大切に使用させていただきます。品物をご提供くださった皆さま、お買い上げくださった皆さま、本当にありがとうございました。

※この特集の執筆は、関口敦子、永井みどり、伊藤直子、新堀みさが担当しました。

令和5年度 青少年育成バザー 会計報告

◆収入の部
売上金 276,798円

◆支出の部
事務費
(整理袋・印刷代等) 他 39,136円
寄付
あしなが育英会 23,000円

◆育成資金
(育成活動資金として預金) 214,662円

ミニ・リーダー通信

ミニミニキャンプ
7月29日(土)・30日(日)



太陽の下でもいっしょに外遊びができました！

ミニ・リーダー20名、ジュニア・リーダー(中学生)4名、青年リーダー2名、育成者10名に講師の濱田先生を加えた総勢37名で、静岡県立朝霧野外活動センターへ1泊2日のキャンプに行きました。

お天気に恵まれたので、クワフト体験、野外遊び、施設内のプラネタリウム見学、キャンプファイヤーなど予定していたプログラムをすべてこなすことができました。帰りは山梨県立リニア見学センターにも立ち寄りしましたが、懸命された渋滞に巻き込まれることなく、ほぼ予定どおりの時刻に帰ることができました。(部長 間瀬敬子)

夜間パトロール
8月29日(火)

今年の夜間パトロールも、東山公園と沼袋商店街をまわるコースに分かれて、夜9時に沼袋区民活動センターを出発しました。

どちらのコースも親子連れの姿が何組かあったものの、子どもたちだけで歩いていたりと遊んでいた姿はありませんでした。平和の森公園では、花火やランニングをしている人や、滑り台で遊んでいる家族がいて、暑い日差しが落ちて気持ちのいい気温のなかで夏休みを楽しんでいる様子がみられました。

商店街は徐々に新しい建物に変わり、平和の森公園も明るくなりましたが、それでも街路樹の間や公園の奥など、一人で歩くには不安を感じる場所がありました。今後も街灯や防犯カメラが増えることを願っています。

(北垣和代)

カヌーにのる
9月18日(月・祝)



この日は絶好のカヌー日和でした

たくさんの方が見守るなか、緑野小学校のプールでカヌー体験を行いました。ライフジャケットを着て緊張した面持ちのミニ・リーダーたちが、乗り方を教わってからさっそくカヌーに乗り込みました。最初はまっすぐ進

まずくるっと回転してしまい、あちこちから笑い声が起きました。練習するうちみるみる上達していききました。後半は、カヌーに乗ったままパドルで相手ゴールにボールを入れる『カヌーボロ』というゲームで盛り上がりました。子どもたちからは「楽しすぎた、もっとやりたい」「最初は難しかったけど楽しかった。教えてくれる人がすごい」「来年もやりたい」など、明るい声の感想を聞くことができました。

大勢の大人たちのサポートが、子どもたちの豊かな成長につながっていると感じられた一日でした。

(新村恵美)

スネークパンづくり
10月1日(日)

沼袋区民活動センターの洋室2・3号と調理室、そして丸山塚公園を使用して、スネークパンづくりを行いました。7月のキャンプでは刃物の使い方を学ぶ講習ができなかったため、この日は、4年生は調理室でりんごの皮むきとカットで包丁を使い、5・6年生は公園でスネークパンを焼くための薪を切るのこぎり

とあなたの講習を受けました。パンに入れるりんごジャムもおいしくできあがり、公園での薪を使った火おこしも順調で、みなさんでおいしい焼きたてスネークパンを食べることができました。

(部長 間瀬敬子)

子どもワイワイ広場 10月15日(日)



どの売り場も子どもたちで大盛況！

朝からあいにくの雨になったため、丸山塚公園から沼袋区民活動センターの館内と玄関前の軒下に会場が変更されました。最初は出足が悪くてコーナーの担当者も心配していましたが、10時半ごろから徐々に来場者が増え始め、気がつけばどのコーナーも大盛況になっていました。

この子どもワイワイ広場には、地域の町会や子どもと共に進む会、学校PTAなどさまざまな団体が参加して各コーナーを担当しています。あ

朝からあいにくの雨になったため、丸山塚公園から沼袋区民活動センターの館内と玄関前の軒下に会場が変更されました。最初は出足が悪くてコーナーの担当者も心配していましたが、10時半ごろから徐々に来場者が増え始め、気がつけばどのコーナーも大盛況になっていました。

(木村登美子)

ミニ・リーダーと一緒に遊ぼう!!

ウィンターフェスタ
令和6年1月21日(日)10:00~
沼袋区民活動センター
※詳細は1月に配布するチラシをご覧ください

編集後記

今年は4年ぶりにバザーを開催することができました。広報部の私にとっては地域の方々と触れ合える数少ない機会なので、とてもうれしかったです。

冬休みあそびいろいろ

各キッズ・プラザは、12/29(金)〜1/3(水)までお休みです。

※行事の詳細は、各施設・団体にお問い合わせください。

▼キッズ・プラザ江古田 (3380517955)

12/25(月)午後3時半〜
「お楽しみ会」
みんなでゲームをやった楽しもう!

▼キッズ・プラザ緑野 (534517470)
12/20(水)午後2時半〜
四つ葉子ども会「ふれあいタイム」

世界で一つのオリジナルカレンダー作り
12/22(金)午後2時45分〜
ぐりとぐらの会「おはなし会」

▼沼袋子どもと共に進む会 (関口538005307)
1/14(日)午前10時〜
どんと焼き(参加費150円)

百観音公園(小雨決行)
※雨天の場合は20日(土)に延期です。

コロナ禍で外出自粛が呼びかけられていたころ、『断捨離』で多くの人が家の片付けをしたと聞きます。にもかかわらず、コロナ前に比べて少し減ったとはいえ、たくさん

の提供品が集まったことに多くの地区委員が驚いていました。「いつかバザーが復活したときのために」と、不用品を捨てずに保管してください

の方もいたそうです。さまざまな行事の復活とともに、地域の方々とつながりもこれまで以上に強固になればいいと願っています。

(清水理香)